

# 令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 愛知県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	精神医療センター	2	西尾市	西尾市民病院	20
-	愛知病院	3	蒲郡市	蒲郡市民病院	21
-	循環器呼吸器病センター	4	常滑市	常滑市民病院	22
-	がんセンター中央病院	5	小牧市	小牧市民病院	23
-	あいち小児保健医療総合センター	6	稲沢市	稲沢市民病院	24
名古屋市	東部医療センター	7	新城市	新城市民病院	25
名古屋市	西部医療センター	8	知多市	知多市民病院	26
名古屋市	緑市民病院	9	高浜市	市立病院	27
豊橋市	豊橋市民病院	10	みよし市	みよし市民病院	28
岡崎市	岡崎市民病院	11	あま市	あま市民病院	29
岡崎市	岡崎市立愛知病院	12	公立陶生病院組合	公立陶生病院	30
一宮市	一宮市立市民病院	13	西知多医療厚生組合（事業会計分）	西知多総合病院	31
一宮市	一宮市立木曾川市民病院	14			
半田市	半田病院	15			
春日井市	春日井市民病院	16			
豊川市	豊川市民病院	17			
津島市	津島市民病院	18			
碧南市	碧南市民病院	19			

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛知県
		市町村・組合名	
		病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	29,688 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨
診療科数	4	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	273	66.9	71.7	71.4
感染症	-	-	-	-
計	273	66.9	71.7	71.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,483,128	
決算規模(千円)	2,256,860,944	
標準財政規模(千円)	1,370,065,804	
財政力指数	0.91971	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,114,877			
1 経常収益	3,114,877			
(1) 医業収益	2,286,028			
入院収益	1,651,321			
外来収益	580,401			
診療収入計	2,231,722			
その他医業収益	54,306			
(うち他会計負担金)	43,617			
(2) 医業外収益	828,849			
(うち国・都道府県補助金)	10,930			
(うち他会計補助・負担金)	681,442			
(うち長期前受金戻入)	60,923			
(うち資本費繰入収益)	61,711			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,896,930			
2 経常費用	3,896,930			
(1) 医業費用	3,709,577			
職員給与費	2,245,975	98.2	55.7	98.9
材料費	292,986	12.8	24.7	8.8
(うち薬品費)	267,567	11.7	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	23,175	1.0	11.0	1.1
減価償却費	486,122	21.3	9.0	12.7
経費	679,549	29.7	23.3	34.6
(うち委託料)	386,655	16.9	11.5	17.1
研究研修費	4,414			
資産減耗費	531			
(2) 医業外費用	187,353			
(うち支払利息)	59,740	2.6	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-782,053			
純損益	-782,053			
累積欠損金	13,288,220			
経常収支比率	79.9		97.7	98.9
医業収支比率	61.6		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	31.7		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	61.3		85.7	64.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,580,948
1 固定資産	42,797,680
(1) 有形固定資産	40,866,113
(2) 無形固定資産	13,599
(3) 投資その他の資産	1,917,968
2 流動資産	5,783,268
(1) 現金及び預金	709,150
(2) 未収金及び未収収益	5,000,057
(3) 貸倒引当金( )	110,981
(4) 貯蔵品	184,836
3 繰延資産	-
負債合計	48,052,939
1 固定負債	34,675,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,954,586
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,000,000
(6) 引当金	6,571,548
(7) リース債務	1,149,207
2 流動負債	8,376,648
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,661,418
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,154,738
(6) リース債務	787,511
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,538,375
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,000,950
(1) 長期前受金	10,216,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,215,352
資本合計	528,009
1 資本金	46,110,007
2 剰余金	-45,581,998
(1) 資本金剰余金	1,027,903
(2) 利益剰余金	-46,609,901
負債・資本合計	48,580,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	60.4
修正医業収益(千円)	2,242,411

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	724,513	725,059
資本勘定繰入	61,711	61,711
計	786,224	786,770

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	514,089	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛知県
		市町村・組合名	
		病院名	愛知病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	24.3	58.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	17.5	20.1
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	22.5	50.4
平均在院日数(一般病床のみ)		-	12.7	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	7,483,128	
決算規模(千円)	2,256,860,944	
標準財政規模(千円)	1,370,065,804	
財政力指数	0.91971	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,637,297			
1 経常収益	1,302,414			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,302,414			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	43,445			
(うち長期前受金戻入)	3,002			
(うち資本費繰入収益)	159,530			
(3) 特別利益	334,883			
(うち他会計繰入金)	238,683			
総費用	1,461,077			
2 経常費用	1,225,161			
(1) 医業費用	1,178,908			
職員給与費	1,027,969	-	55.7	59.8
材料費	-	-	24.7	19.0
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	9.2
減価償却費	142,099	-	9.0	9.9
経費	8,840	-	23.3	27.7
(うち委託料)	11	-	11.5	12.4
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	46,253			
(うち支払利息)	26,416	-	1.4	1.5
(3) 特別損失	235,916			
損益				
経常損益	77,253			
純損益	176,220			
累積欠損金	11,308,573			
経常収支比率	106.3		97.7	96.3
医業収支比率	-		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	17.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	102.8		85.7	83.5

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	282,128	282,128
資本勘定繰入	255,730	255,730
計	537,858	537,858

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	514,089	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛知県
		市町村・組合名	
		病院名	循環器呼吸器病センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	7,483,128	
決算規模(千円)	2,256,860,944	
標準財政規模(千円)	1,370,065,804	
財政力指数	0.91971	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	158,443			
1 経常収益	158,443			
(1) 医業収益	155,094			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	155,094			
(うち他会計負担金)	155,094			
(2) 医業外収益	3,349			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	3,349			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,986			
2 経常費用	1,986			
(1) 医業費用	-152			
職員給与費	-	-	55.7	80.8
材料費	-	-	24.7	13.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	4.9
減価償却費	-	-	9.0	12.9
経費	-152	-0.1	23.3	47.4
(うち委託料)	47	-	11.5	20.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,138			
(うち支払利息)	167	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	156,457			
純損益	156,457			
累積欠損金	9,769,197			
経常収支比率	7978.0		97.7	96.7
医業収支比率	-102035.5		88.1	63.9
他会計繰入金対経常収益比率	97.9		12.3	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	100.0		14.5	54.2
他会計繰入金対総収益比率	97.9		12.4	34.7
実質収益対経常費用比率	168.6		85.7	64.2

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	155,094	155,094
資本勘定繰入	3,349	3,349
計	158,443	158,443

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	514,089	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	
				病院名	がんセンター中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	72,941 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨カ		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	500	75.0	75.4	77.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	75.0	75.4	77.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	11.7	12.3

設立団体の状況		
人口(人)	7,483,128	
決算規模(千円)	2,256,860,944	
標準財政規模(千円)	1,370,065,804	
財政力指数	0.91971	
経常収支比率(%)	99.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.3

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収益(千円)	19,173,071

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,020,757			
1 経常収益	23,020,757			
(1) 医業収益	20,115,251			
入院収益	8,979,954			
外来収益	9,286,069			
診療収入計	18,266,023			
その他医業収益	1,849,228			
(うち他会計負担金)	942,180			
(2) 医業外収益	2,905,506			
(うち国・都道府県補助金)	33,795			
(うち他会計補助・負担金)	1,615,056			
(うち長期前受金戻入)	116,682			
(うち資本費繰入収益)	796,109			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,027,853			
2 経常費用	23,027,853			
(1) 医業費用	21,926,423			
職員給与費	7,677,547	38.2	55.7	49.1
材料費	9,083,312	45.2	24.7	29.1
(うち薬品費)	7,105,959	35.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,890,435	9.4	11.0	12.7
減価償却費	1,422,598	7.1	9.0	8.4
経費	3,193,190	15.9	23.3	20.7
(うち委託料)	1,399,006	7.0	11.5	11.6
研究研修費	467,868			
資産減耗費	81,908			
(2) 医業外費用	1,101,430			
(うち支払利息)	58,371	0.3	1.4	1.2
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-7,096			
純損益	-7,096			
累積欠損金	1,963,100			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	91.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.1		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	11.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	88.9		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	48,580,948
1 固定資産	42,797,680
(1) 有形固定資産	40,866,113
(2) 無形固定資産	13,599
(3) 投資その他の資産	1,917,968
2 流動資産	5,783,268
(1) 現金及び預金	709,150
(2) 未収金及び未収収益	5,000,057
(3) 貸倒引当金( )	110,981
(4) 貯蔵品	184,836
3 繰延資産	-
負債合計	48,052,939
1 固定負債	34,675,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,954,586
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	3,000,000
(6) 引当金	6,571,548
(7) リース債務	1,149,207
2 流動負債	8,376,648
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,661,418
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,154,738
(6) リース債務	787,511
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,538,375
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,000,950
(1) 長期前受金	10,216,302
(2) 長期前受金収益化累計額( )	5,215,352
資本合計	528,009
1 資本金	46,110,007
2 剰余金	-45,581,998
(1) 資本金剰余金	1,027,903
(2) 利益剰余金	-46,609,901
負債・資本合計	48,580,948
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,553,632	2,557,236
資本勘定繰入	798,927	798,927
計	3,352,559	3,356,163

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	514,089	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	
				病院名	あいち小児保健医療総合センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,437 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 臨		
診療科数	31	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区 分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一 般	200	62.9	61.1	62.5
療 養	-	-	-	-
結 核	-	-	-	-
精 神	-	-	-	-
感 染 症	-	-	-	-
計	200	62.9	61.1	62.5
平均在院日数(一般病床のみ)		5.1	5.0	5.4

設立団体の状況		
人 口(人)	7,483,128	
決 算 規 模(千円)	2,256,860,944	
標 準 財 政 規 模(千円)	1,370,065,804	
財 政 力 指 数	0.91971	
経 常 収 支 比 率(%)	99.8	
健全化 判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	187.3

損 益 計 算 書 (千円・%)				
区 分	決 算 額	費 用 医 業 収 益	全 国 平 均	類 似 平 均
総 収 益	10,751,375			
1 経 常 収 益	10,751,375			
(1) 医 業 収 益	8,278,971			
入 院 収 益	5,363,072			
外 来 収 益	1,840,594			
診 療 収 入 計	7,203,666			
そ の 他 医 業 収 益	1,075,305			
(うち他会計負担金)	1,015,261			
(2) 医 業 外 収 益	2,472,404			
(うち国・都道府県補助金)	46,600			
(うち他会計補助・負担金)	1,490,935			
(うち長期前受金戻入)	95,008			
(うち資本費繰入収益)	781,614			
(3) 特 別 利 益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総 費 用	10,951,222			
2 経 常 費 用	10,951,222			
(1) 医 業 費 用	10,447,896			
職 員 給 与 費	5,063,050	61.2	55.7	59.8
材 料 費	2,213,728	26.7	24.7	19.0
(うち薬品費)	1,199,711	14.5	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,009,835	12.2	11.0	9.2
減 価 償 却 費	1,178,630	14.2	9.0	9.9
経 費	1,955,074	23.6	23.3	27.7
(うち委託料)	992,729	12.0	11.5	12.4
研 究 研 修 費	37,392			
資 産 減 耗 費	22			
(2) 医 業 外 費 用	503,326			
(うち支払利息)	136,753	1.7	1.4	1.5
(3) 特 別 損 失	-			
損 益				
経 常 損 益	-199,847			
純 損 益	-199,847			
累 積 欠 損 金	10,280,811			
経 常 収 支 比 率	98.2		97.7	96.3
医 業 収 支 比 率	79.2		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	23.3		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.3		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	23.3		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	75.3		85.7	83.5

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸 借 対 照 表 (千円・%)	
区 分	決 算 額
資 産 合 計	48,580,948
1 固 定 資 産	42,797,680
(1) 有 形 固 定 資 産	40,866,113
(2) 無 形 固 定 資 産	13,599
(3) 投 資 そ の 他 の 資 産	1,917,968
2 流 動 資 産	5,783,268
(1) 現 金 及 び 預 金	709,150
(2) 未 収 金 及 び 未 収 収 益	5,000,057
(3) 貸 倒 引 当 金 ( )	110,981
(4) 貯 蔵 品	184,836
3 繰 延 資 産	-
負 債 合 計	48,052,939
1 固 定 負 債	34,675,341
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	23,954,586
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 再 建 債 ( 特 例 債 含 む )	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) そ の 他 の 長 期 借 入 金	3,000,000
(6) 引 当 金	6,571,548
(7) リ ー ス 債 務	1,149,207
2 流 動 負 債	8,376,648
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,661,418
(2) そ の 他 の 企 業 債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) そ の 他 の 長 期 借 入 金	-
(5) 引 当 金	1,154,738
(6) リ ー ス 債 務	787,511
(7) 一 時 借 入 金	-
(8) 未 払 金 及 び 未 払 費 用	3,538,375
(9) 前 受 金 及 び 前 受 収 益	-
3 繰 延 収 益	5,000,950
(1) 長 期 前 受 金	10,216,302
(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 ( )	5,215,352
資 本 合 計	528,009
1 資 本 金	46,110,007
2 剰 余 金	-45,581,998
(1) 資 本 剰 余 金	1,027,903
(2) 利 益 剰 余 金	-46,609,901
負 債 ・ 資 本 合 計	48,580,948
不 良 債 務	-
実 質 資 金 不 足 額	-
資 本 不 足 額 ( )	-
資本不足額(繰延収益控除後) ( )	-
備 考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.5
修正医業収益(千円)	7,263,710

他会計からの繰入状況(千円)		
区 分	基 準 額	実 繰 入 額
収益勘定繰入	2,496,252	2,506,196
資本勘定繰入	781,614	781,614
計	3,277,866	3,287,810

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年 度	不 良 債 務 額(千円)	不 良 債 務 比 率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	514,089	1.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	151.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益から  
 その他医業収益のうち他会計負担金を  
 除いたもので、修正医業収支比率とは、  
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
 「健全化法上の資金不足額」、  
 「健全化法上の資金不足比率」、  
 「地財法上の資金不足額」、  
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
 算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
 支出される経費(経常的経費)に充当された  
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
 占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	名古屋市
				病院名	東部医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,244 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 地 輪		
診療科数	30	看護配置	7 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	488	77.4	79.6	74.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	11.1	-	-
計	498	76.0	78.0	73.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.9	11.2

設立団体の状況		
人口(人)	2,295,638	
決算規模(千円)	1,217,190,222	
標準財政規模(千円)	646,827,243	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	104.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.4
修正医業収益(千円)	11,938,163

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,809,100			
1 経常収益	14,547,453			
(1) 医業収益	12,538,685			
入院収益	9,356,388			
外来収益	2,420,899			
診療収入計	11,777,287			
その他医業収益	761,398			
(うち他会計負担金)	600,522			
(2) 医業外収益	2,008,768			
(うち国・都道府県補助金)	26,281			
(うち他会計補助・負担金)	1,386,205			
(うち長期前受金戻入)	505,338			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	261,647			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,466,791			
2 経常費用	16,057,621			
(1) 医業費用	15,426,444			
職員給与費	7,910,849	63.1	55.7	54.0
材料費	3,529,354	28.1	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,159,161	9.2	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,279,340	18.2	11.0	12.2
減価償却費	1,233,633	9.8	9.0	7.9
経費	2,629,020	21.0	23.3	19.2
(うち委託料)	1,379,259	11.0	11.5	9.3
研究研修費	45,478			
資産減耗費	78,110			
(2) 医業外費用	631,177			
(うち支払利息)	100,373	0.8	1.4	1.3
(3) 特別損失	1,409,170			
損益				
経常損益	-1,510,168			
純損益	-2,657,691			
累積欠損金	9,325,956			
経常収支比率	90.6		97.7	98.8
医業収支比率	81.3		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.7		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	15.8		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	13.4		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	78.2		85.7	89.1

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	64,461,397
1 固定資産	57,166,000
(1) 有形固定資産	57,132,138
(2) 無形固定資産	1,995
(3) 投資その他の資産	31,867
2 流動資産	7,295,397
(1) 現金及び預金	1,979,734
(2) 未収金及び未収収益	5,251,558
(3) 貸倒引当金( )	87,394
(4) 貯蔵品	151,499
3 繰延資産	-
負債合計	55,817,592
1 固定負債	46,197,023
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,979,154
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,905,659
(7) リース債務	80,790
2 流動負債	7,573,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,851,967
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	988,177
(6) リース債務	32,817
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,904,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,047,092
(1) 長期前受金	14,573,308
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,526,216
資本合計	8,643,805
1 資本金	19,873,485
2 剰余金	-11,229,680
(1) 資本金剰余金	2,022,006
(2) 利益剰余金	-13,251,686
負債・資本合計	64,461,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,986,799	1,986,727
資本勘定繰入	3,261,500	3,259,682
計	5,248,299	5,246,409

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	名古屋市
				病院名	西部医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	42,591 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	500	80.7	82.0	84.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	500	80.7	82.0	84.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.0	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,295,638	
決算規模(千円)	1,217,190,222	
標準財政規模(千円)	646,827,243	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	104.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.3
修正医業収益(千円)	15,972,745

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,126,185			
1 経常収益	19,117,222			
(1) 医業収益	16,412,709			
入院収益	9,418,463			
外来収益	6,117,712			
診療収入計	15,536,175			
その他医業収益	876,534			
(うち他会計負担金)	439,964			
(2) 医業外収益	2,704,513			
(うち国・都道府県補助金)	55,261			
(うち他会計補助・負担金)	1,796,768			
(うち長期前受金戻入)	645,968			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,963			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,118,157			
2 経常費用	19,117,194			
(1) 医業費用	18,088,861			
職員給与費	7,942,943	48.4	55.7	49.1
材料費	4,593,849	28.0	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,844,521	17.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,661,750	10.1	11.0	12.7
減価償却費	2,089,555	12.7	9.0	8.4
経費	3,406,491	20.8	23.3	20.7
(うち委託料)	1,918,634	11.7	11.5	11.6
研究研修費	39,414			
資産減耗費	16,609			
(2) 医業外費用	1,028,333			
(うち支払利息)	364,731	2.2	1.4	1.2
(3) 特別損失	963			
損益				
経常損益	28			
純損益	8,028			
累積欠損金	1,666,618			
経常収支比率	100.0		97.7	98.8
医業収支比率	90.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	11.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	11.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	88.3		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	64,461,397
1 固定資産	57,166,000
(1) 有形固定資産	57,132,138
(2) 無形固定資産	1,995
(3) 投資その他の資産	31,867
2 流動資産	7,295,397
(1) 現金及び預金	1,979,734
(2) 未収金及び未収収益	5,251,558
(3) 貸倒引当金( )	87,394
(4) 貯蔵品	151,499
3 繰延資産	-
負債合計	55,817,592
1 固定負債	46,197,023
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,979,154
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,905,659
(7) リース債務	80,790
2 流動負債	7,573,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,851,967
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	988,177
(6) リース債務	32,817
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,904,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,047,092
(1) 長期前受金	14,573,308
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,526,216
資本合計	8,643,805
1 資本金	19,873,485
2 剰余金	-11,229,680
(1) 資本金剰余金	2,022,006
(2) 利益剰余金	-13,251,686
負債・資本合計	64,461,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,226,533	2,236,732
資本勘定繰入	790,797	725,525
計	3,017,330	2,962,257

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	名古屋市
				病院名	緑市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	16,675 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	300	61.9	61.9	60.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	61.9	61.9	60.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.4	12.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,295,638	
決算規模(千円)	1,217,190,222	
標準財政規模(千円)	646,827,243	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	99.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.2
	将来負担比率(%)	104.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	333,873			
1 経常収益	333,733			
(1) 医業収益	7,927			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	7,927			
(うち他会計負担金)	3,412			
(2) 医業外収益	325,806			
(うち国・都道府県補助金)	1,796			
(うち他会計補助・負担金)	207,835			
(うち長期前受金戻入)	94,844			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	140			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	442,905			
2 経常費用	442,905			
(1) 医業費用	428,827			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	210,358	2653.7	9.0	9.3
経費	216,039	2725.4	23.3	22.1
(うち委託料)	1,250	15.8	11.5	11.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	2,430	-		
(2) 医業外費用	14,078			
(うち支払利息)	13,562	171.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-109,172			
純損益	-109,032			
累積欠損金	2,259,112			
経常収支比率	75.4		97.7	96.4
医業収支比率	1.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	63.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	2664.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	63.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	27.7		85.7	85.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	64,461,397
1 固定資産	57,166,000
(1) 有形固定資産	57,132,138
(2) 無形固定資産	1,995
(3) 投資その他の資産	31,867
2 流動資産	7,295,397
(1) 現金及び預金	1,979,734
(2) 未収金及び未収収益	5,251,558
(3) 貸倒引当金( )	87,394
(4) 貯蔵品	151,499
3 繰延資産	-
負債合計	55,817,592
1 固定負債	46,197,023
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	33,979,154
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,905,659
(7) リース債務	80,790
2 流動負債	7,573,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,851,967
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	988,177
(6) リース債務	32,817
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	3,904,596
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,047,092
(1) 長期前受金	14,573,308
(2) 長期前受金収益化累計額( )	12,526,216
資本合計	8,643,805
1 資本金	19,873,485
2 剰余金	-11,229,680
(1) 資本金剰余金	2,022,006
(2) 利益剰余金	-13,251,686
負債・資本合計	64,461,397
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.1
修正医業収益(千円)	4,515

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	211,247	211,247
資本勘定繰入	77,329	77,329
計	288,576	288,576

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	豊橋市
				病院名	豊橋市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	63,131 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
診療科数	37	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	780	90.5	87.9	90.7
療養	-	-	-	-
結核	10	27.8	35.9	35.8
精神	-	-	-	-
感染症	10	4.0	-	-
計	800	88.6	86.2	88.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.2	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	374,765	
決算規模(千円)	128,320,336	
標準財政規模(千円)	72,533,265	
財政力指数	0.99	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.7
	将来負担比率(%)	51.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.3
修正医業収益(千円)	29,719,536

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	32,630,744			
1 経常収益	32,147,008			
(1) 医業収益	30,411,174			
入院収益	17,729,835			
外来収益	11,389,553			
診療収入計	29,119,388			
その他医業収益	1,291,786			
(うち他会計負担金)	691,638			
(2) 医業外収益	1,735,834			
(うち国・都道府県補助金)	73,558			
(うち他会計補助・負担金)	864,809			
(うち長期前受金戻入)	556,643			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	483,736			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	32,220,459			
2 経常費用	32,017,507			
(1) 医業費用	30,852,615			
職員給与費	12,404,461	40.8	55.7	49.1
材料費	11,151,324	36.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	7,233,394	23.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,914,017	12.9	11.0	12.7
減価償却費	2,411,813	7.9	9.0	8.4
経費	4,619,784	15.2	23.3	20.7
(うち委託料)	2,487,624	8.2	11.5	11.6
研究研修費	114,255			
資産減耗費	150,978			
(2) 医業外費用	1,164,892			
(うち支払利息)	363,907	1.2	1.4	1.2
(3) 特別損失	202,952			
損益				
経常損益	129,501			
純損益	410,285			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.4		97.7	98.8
医業収支比率	98.6		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.1		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	4.8		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	95.5		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	39,802,765
1 固定資産	29,802,243
(1) 有形固定資産	28,239,074
(2) 無形固定資産	740,991
(3) 投資その他の資産	822,178
2 流動資産	10,000,522
(1) 現金及び預金	4,909,831
(2) 未収金及び未収収益	5,057,767
(3) 貸倒引当金( )	11,804
(4) 貯蔵品	44,540
3 繰延資産	-
負債合計	27,960,033
1 固定負債	19,402,566
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,237,051
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,587,756
(7) リース債務	577,759
2 流動負債	6,008,476
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,271,001
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	687,277
(6) リース債務	359,332
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,565,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,548,991
(1) 長期前受金	16,804,154
(2) 長期前受金収益化累計額( )	14,255,163
資本合計	11,842,732
1 資本金	9,194,942
2 剰余金	2,647,790
(1) 資本金剰余金	374,131
(2) 利益剰余金	2,273,659
負債・資本合計	39,802,765
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,556,566	1,556,447
資本勘定繰入	1,292,791	1,292,130
計	2,849,357	2,848,577

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛知県
	市町村・組合名	岡崎市
	病院名	岡崎市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	62,940 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨がへ災地
診療科数	40	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	715	79.5	81.4	80.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	715	79.5	81.4	80.1
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	11.8	12.2

設立団体の状況		
人口(人)	381,051	
決算規模(千円)	131,444,936	
標準財政規模(千円)	76,355,730	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,227,206			
1 経常収益	22,845,269			
(1) 医業収益	20,935,342			
入院収益	13,770,871			
外来収益	6,581,069			
診療収入計	20,351,940			
その他医業収益	583,402			
(うち他会計負担金)	119,364			
(2) 医業外収益	1,909,927			
(うち国・都道府県補助金)	35,713			
(うち他会計補助・負担金)	1,176,929			
(うち長期前受金戻入)	474,168			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	381,937			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,589,745			
2 経常費用	23,484,747			
(1) 医業費用	22,413,641			
職員給与費	10,737,546	51.3	55.7	49.1
材料費	6,069,080	29.0	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,786,731	13.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,280,064	15.7	11.0	12.7
減価償却費	1,574,206	7.5	9.0	8.4
経費	3,916,249	18.7	23.3	20.7
(うち委託料)	2,209,603	10.6	11.5	11.6
研究研修費	62,149			
資産減耗費	54,411			
(2) 医業外費用	1,071,106			
(うち支払利息)	196,806	0.9	1.4	1.2
(3) 特別損失	104,998			
損益				
経常損益	-639,478			
純損益	-362,539			
累積欠損金	5,059,800			
経常収支比率	97.3		97.7	98.8
医業収支比率	93.4		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.7		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.2		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	91.8		85.7	89.9

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,023,338
1 固定資産	26,819,738
(1) 有形固定資産	24,229,681
(2) 無形固定資産	7,833
(3) 投資その他の資産	2,582,224
2 流動資産	9,203,600
(1) 現金及び預金	3,928,015
(2) 未収金及び未収収益	4,979,438
(3) 貸倒引当金( )	38,593
(4) 貯蔵品	334,740
3 繰延資産	-
負債合計	26,670,090
1 固定負債	18,590,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,513,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,985,674
(7) リース債務	91,894
2 流動負債	4,623,703
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,047,311
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	682,958
(6) リース債務	36,612
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,718,421
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,455,714
(1) 長期前受金	16,959,464
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,503,750
資本合計	9,353,248
1 資本金	12,070,647
2 剰余金	-2,717,399
(1) 資本金剰余金	3,425,195
(2) 利益剰余金	-6,142,594
負債・資本合計	36,023,338
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収益(千円)	20,815,978

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,295,579	1,296,293
資本勘定繰入	707,452	707,452
計	2,003,031	2,003,745

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	愛知県	
	市町村・組合名	岡崎市	
	病院名	岡崎市立愛知病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,121 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	感
診療科数	4	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	120	31.1	-	-
療養	-	-	-	-
結核	25	28.4	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	7.1	-	-
計	151	29.7	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	381,051	
決算規模(千円)	131,444,936	
標準財政規模(千円)	76,355,730	
財政力指数	1.03	
経常収支比率(%)	87.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-1.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,229,701			
1 経常収益	1,229,701			
(1) 医業収益	810,858			
入院収益	462,844			
外来収益	326,790			
診療収入計	789,634			
その他医業収益	21,224			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	418,843			
(うち国・都道府県補助金)	325			
(うち他会計補助・負担金)	110,231			
(うち長期前受金戻入)	104,636			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,312,495			
2 経常費用	2,239,472			
(1) 医業費用	2,169,090			
職員給与費	874,706	107.9	55.7	61.3
材料費	241,036	29.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	207,901	25.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	32,387	4.0	11.0	8.2
減価償却費	60,995	7.5	9.0	10.2
経費	985,844	121.6	23.3	30.5
(うち委託料)	365,171	45.0	11.5	13.0
研究研修費	3,700			
資産減耗費	2,809			
(2) 医業外費用	70,382			
(うち支払利息)	-	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	73,023			
損益				
経常損益	-1,009,771			
純損益	-1,082,794			
累積欠損金	1,082,794			
経常収支比率	54.9		97.7	96.5
医業収支比率	37.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	9.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	50.0		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	36,023,338
1 固定資産	26,819,738
(1) 有形固定資産	24,229,681
(2) 無形固定資産	7,833
(3) 投資その他の資産	2,582,224
2 流動資産	9,203,600
(1) 現金及び預金	3,928,015
(2) 未収金及び未収収益	4,979,438
(3) 貸倒引当金( )	38,593
(4) 貯蔵品	334,740
3 繰延資産	-
負債合計	26,670,090
1 固定負債	18,590,673
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,513,105
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,985,674
(7) リース債務	91,894
2 流動負債	4,623,703
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,047,311
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	682,958
(6) リース債務	36,612
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,718,421
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,455,714
(1) 長期前受金	16,959,464
(2) 長期前受金収益化累計額( )	13,503,750
資本合計	9,353,248
1 資本金	12,070,647
2 剰余金	-2,717,399
(1) 資本剰余金	3,425,195
(2) 利益剰余金	-6,142,594
負債・資本合計	36,023,338
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	37.4
修正医業収益(千円)	810,858

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	110,231	110,231
資本勘定繰入	-	-
計	110,231	110,231

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	28.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	一宮市
				病院名	一宮市立市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	59,189 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	29	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	570	81.6	80.8	84.4
療養	-	-	-	-
結核	18	64.2	51.7	59.5
精神	-	-	-	-
感染症	6	8.2	-	-
計	594	80.3	79.1	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		10.8	11.1	11.4

設立団体の状況		
人口(人)	380,868	
決算規模(千円)	115,213,501	
標準財政規模(千円)	72,362,696	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(‰)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(‰)	-
	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	3.5
	将来負担比率(‰)	39.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(‰)	90.2
修正医業収益(千円)	19,451,467

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,092,981			
1 経常収益	21,092,033			
(1) 医業収益	19,764,221			
入院収益	12,541,134			
外来収益	6,649,177			
診療収入計	19,190,311			
その他医業収益	573,910			
(うち他会計負担金)	312,754			
(2) 医業外収益	1,327,812			
(うち国・都道府県補助金)	56,644			
(うち他会計補助・負担金)	865,790			
(うち長期前受金戻入)	276,966			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	948			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	22,922,194			
2 経常費用	22,879,949			
(1) 医業費用	21,559,398			
職員給与費	9,754,645	49.4	55.7	49.1
材料費	6,258,168	31.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,578,348	18.1	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,665,821	13.5	11.0	12.7
減価償却費	1,853,456	9.4	9.0	8.4
経費	3,618,181	18.3	23.3	20.7
(うち委託料)	2,145,250	10.9	11.5	11.6
研究研修費	50,654			
資産減耗費	24,294			
(2) 医業外費用	1,320,551			
(うち支払利息)	214,964	1.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	42,245			
損益				
経常損益	-1,787,916			
純損益	-1,829,213			
累積欠損金	7,679,312			
経常収支比率	92.2		97.7	98.8
医業収支比率	91.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	5.6		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.0		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	5.6		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	87.0		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,170,278
1 固定資産	24,511,911
(1) 有形固定資産	23,861,994
(2) 無形固定資産	2,219
(3) 投資その他の資産	647,698
2 流動資産	7,658,367
(1) 現金及び預金	4,077,812
(2) 未収金及び未収収益	3,488,080
(3) 貸倒引当金( )	41,524
(4) 貯蔵品	133,352
3 繰延資産	-
負債合計	22,893,802
1 固定負債	18,929,653
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,879,959
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,931,887
(7) リース債務	1,117,807
2 流動負債	3,371,324
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	528,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	699,899
(6) リース債務	419,599
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,633,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	592,825
(1) 長期前受金	2,428,034
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,835,209
資本合計	9,276,476
1 資本金	19,188,348
2 剰余金	-9,911,872
(1) 資本剰余金	38,634
(2) 利益剰余金	-9,950,506
負債・資本合計	32,170,278
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,178,544	1,178,544
資本勘定繰入	251,794	251,794
計	1,430,338	1,430,338

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(‰)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(‰)	45.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(‰)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(‰)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛知県
		市町村・組合名	一宮市
		病院名	一宮市立木曾川市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,560 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	6	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	90	79.0	77.7	74.6
療養	48	97.6	97.4	98.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	138	85.4	84.5	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.4	18.9	19.1

設立団体の状況		
人口(人)	380,868	
決算規模(千円)	115,213,501	
標準財政規模(千円)	72,362,696	
財政力指数	0.84	
経常収支比率(%)	91.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.5
	将来負担比率(%)	39.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.1
修正医業収益(千円)	2,083,942

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,337,354			
1 経常収益	2,337,328			
(1) 医業収益	2,152,640			
入院収益	1,464,446			
外来収益	566,518			
診療収入計	2,030,964			
その他医業収益	121,676			
(うち他会計負担金)	68,698			
(2) 医業外収益	184,688			
(うち国・都道府県補助金)	454			
(うち他会計補助・負担金)	155,167			
(うち長期前受金戻入)	21,927			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,457,139			
2 経常費用	2,456,704			
(1) 医業費用	2,366,387			
職員給与費	1,506,869	70.0	55.7	61.3
材料費	329,958	15.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	220,049	10.2	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	81,410	3.8	11.0	8.2
減価償却費	115,212	5.4	9.0	10.2
経費	401,820	18.7	23.3	30.5
(うち委託料)	227,224	10.6	11.5	13.0
研究研修費	4,049			
資産減耗費	8,479			
(2) 医業外費用	90,317			
(うち支払利息)	12,074	0.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	435			
損益				
経常損益	-119,376			
純損益	-119,785			
累積欠損金	2,271,194			
経常収支比率	95.1		97.7	96.5
医業収支比率	91.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	9.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	9.6		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	86.0		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,170,278
1 固定資産	24,511,911
(1) 有形固定資産	23,861,994
(2) 無形固定資産	2,219
(3) 投資その他の資産	647,698
2 流動資産	7,658,367
(1) 現金及び預金	4,077,812
(2) 未収金及び未収収益	3,488,080
(3) 貸倒引当金( )	41,524
(4) 貯蔵品	133,352
3 繰延資産	-
負債合計	22,893,802
1 固定負債	18,929,653
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,879,959
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,931,887
(7) リース債務	1,117,807
2 流動負債	3,371,324
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	528,916
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	699,899
(6) リース債務	419,599
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,633,490
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	592,825
(1) 長期前受金	2,428,034
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,835,209
資本合計	9,276,476
1 資本金	19,188,348
2 剰余金	-9,911,872
(1) 資本剰余金	38,634
(2) 利益剰余金	-9,950,506
負債・資本合計	32,170,278
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,865	223,865
資本勘定繰入	34,605	34,605
計	258,470	258,470

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	半田市
				病院名	半田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	37,739 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が 災地 輪		
診療科数	26	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	499	82.2	78.2	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	499	82.2	78.2	72.5
平均在院日数（一般病床のみ）		11.0	10.7	10.4

設立団体の状況		
人口（人）	116,908	
決算規模（千円）	40,289,900	
標準財政規模（千円）	25,175,747	
財政力指数	0.98	
経常収支比率（%）	84.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	0.6
	将来負担比率（%）	-

損益計算書（千円・%）					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	14,513,936				
1 経常収益	14,513,936				
(1) 医業収益	13,970,720				
入院収益	9,439,616				
外来収益	3,844,560				
診療収入計	13,284,176				
その他医業収益	686,544				
(うち他会計負担金)	248,738				
(2) 医業外収益	543,216				
(うち国・都道府県補助金)	31,839				
(うち他会計補助・負担金)	222,376				
(うち長期前受金戻入)	210,103				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	13,673,840				
2 経常費用	13,659,749				
(1) 医業費用	13,084,200				
職員給与費	6,525,337	46.7	55.7	54.0	
材料費	3,690,277	26.4	24.7	26.9	
(うち薬品費)	1,756,589	12.6	13.3	14.2	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,933,688	13.8	11.0	12.2	
減価償却費	821,683	5.9	9.0	7.9	
経費	1,997,696	14.3	23.3	19.2	
(うち委託料)	1,252,575	9.0	11.5	9.3	
研究研修費	30,846				
資産減耗費	18,361				
(2) 医業外費用	575,549				
(うち支払利息)	31,152	0.2	1.4	1.3	
(3) 特別損失	14,091				
損益					
経常損益	854,187				
純損益	840,096				
累積欠損金	-				
経常収支比率	106.3		97.7	98.8	
医業収支比率	106.8		88.1	92.0	
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		12.3	9.8	
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.5	11.1	
他会計繰入金対総収益比率	3.2		12.4	9.9	
実質収益対経常費用比率	102.8		85.7	89.1	

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）		
区分	決算額	
資産合計	15,641,520	
1 固定資産	7,566,729	
(1) 有形固定資産	7,375,017	
(2) 無形固定資産	94,940	
(3) 投資その他の資産	96,772	
2 流動資産	8,074,791	
(1) 現金及び預金	5,417,145	
(2) 未収金及び未収収益	2,695,470	
(3) 貸倒引当金（ ）	68,696	
(4) 貯蔵品	18,417	
3 繰延資産	-	
負債合計	6,453,285	
1 固定負債	4,154,899	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,580,199	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債（特例債含む）	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	2,449,756	
(7) リース債務	124,944	
2 流動負債	1,982,600	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	398,510	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	394,788	
(6) リース債務	194,628	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	993,580	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	315,786	
(1) 長期前受金	1,854,248	
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	1,538,462	
資本合計	9,188,235	
1 資本金	8,934,591	
2 剰余金	253,644	
(1) 資本剰余金	62,364	
(2) 利益剰余金	191,280	
負債・資本合計	15,641,520	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-	
備考		

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	104.9
修正医業収益（千円）	13,721,982

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	471,114	471,114
資本勘定繰入	335,715	335,715
計	806,829	806,829

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>	都道府県名	愛知県
	市町村・組合名	春日井市
	病院名	春日井市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	49,338 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 感 災 地
診療科数	28	看護配置	7 : 1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	552	88.7	87.0	85.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	6.0	-	-
計	558	87.8	86.1	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	10.9	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	306,508	
決算規模(千円)	98,238,936	
標準財政規模(千円)	57,766,334	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.4
	将来負担比率(%)	25.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	18,038,858			
1 経常収益	18,038,858			
(1) 医業収益	17,250,213			
入院収益	11,123,009			
外来収益	5,066,683			
診療収入計	16,189,692			
その他医業収益	1,060,521			
(うち他会計負担金)	656,955			
(2) 医業外収益	788,645			
(うち国・都道府県補助金)	25,487			
(うち他会計補助・負担金)	464,096			
(うち長期前受金戻入)	106,237			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	17,199,258			
2 経常費用	17,199,257			
(1) 医業費用	16,412,048			
職員給与費	8,722,197	50.6	55.7	49.1
材料費	3,739,736	21.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,518,590	8.8	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,221,146	12.9	11.0	12.7
減価償却費	1,110,095	6.4	9.0	8.4
経費	2,751,466	16.0	23.3	20.7
(うち委託料)	1,735,806	10.1	11.5	11.6
研究研修費	57,321			
資産減耗費	31,233			
(2) 医業外費用	787,209			
(うち支払利息)	141,117	0.8	1.4	1.2
(3) 特別損失	1			
損益				
経常損益	839,601			
純損益	839,600			
累積欠損金	3,250,104			
経常収支比率	104.9		97.7	98.8
医業収支比率	105.1		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.2		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	6.5		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.2		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	98.4		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	32,787,455
1 固定資産	21,127,334
(1) 有形固定資産	20,586,908
(2) 無形固定資産	340,351
(3) 投資その他の資産	200,075
2 流動資産	11,660,121
(1) 現金及び預金	9,063,851
(2) 未収金及び未収収益	2,449,854
(3) 貸倒引当金( )	58,935
(4) 貯蔵品	204,878
3 繰延資産	-
負債合計	14,837,551
1 固定負債	9,566,208
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,285,529
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,125,232
(7) リース債務	155,447
2 流動負債	2,920,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	821,010
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	547,202
(6) リース債務	56,248
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,490,867
(9) 前受金及び前受収益	3,883
3 繰延収益	2,351,133
(1) 長期前受金	5,960,652
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,609,519
資本合計	17,949,904
1 資本金	21,013,673
2 剰余金	-3,063,769
(1) 資本剰余金	186,335
(2) 利益剰余金	-3,250,104
負債・資本合計	32,787,455
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	101.1
修正医業収益(千円)	16,593,258

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,139,107	1,121,051
資本勘定繰入	785,506	201,519
計	1,924,613	1,322,570

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	18.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。

・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。

・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	豊川市
				病院名	豊川市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,670 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨へ災地輪		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	454	87.0	84.7	86.7
療養	-	-	-	-
結核	8	23.5	32.0	27.6
精神	65	75.7	76.7	86.3
感染症	-	-	-	-
計	527	84.6	82.9	85.7
平均在院日数(一般病床のみ)		11.6	11.3	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	182,436	
決算規模(千円)	64,116,718	
標準財政規模(千円)	38,757,056	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	88.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-1.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,240,669			
1 経常収益	15,231,903			
(1) 医業収益	14,114,469			
入院収益	9,117,236			
外来収益	4,181,897			
診療収入計	13,299,133			
その他医業収益	815,336			
(うち他会計負担金)	409,791			
(2) 医業外収益	1,117,434			
(うち国・都道府県補助金)	19,323			
(うち他会計補助・負担金)	589,338			
(うち長期前受金戻入)	359,567			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	8,766			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,718,661			
2 経常費用	15,702,693			
(1) 医業費用	15,017,183			
職員給与費	7,076,305	50.1	55.7	49.1
材料費	3,455,821	24.5	24.7	29.1
(うち薬品費)	1,597,972	11.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,857,849	13.2	11.0	12.7
減価償却費	1,127,011	8.0	9.0	8.4
経費	3,213,524	22.8	23.3	20.7
(うち委託料)	1,524,284	10.8	11.5	11.6
研究研修費	74,882			
資産減耗費	69,640			
(2) 医業外費用	685,510			
(うち支払利息)	22,547	0.2	1.4	1.2
(3) 特別損失	15,968			
損益				
経常損益	-470,790			
純損益	-477,992			
累積欠損金	1,736,509			
経常収支比率	97.0		97.7	98.8
医業収支比率	94.0		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.6		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.1		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	6.6		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	90.6		85.7	89.9

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,957,707
1 固定資産	18,436,362
(1) 有形固定資産	14,673,692
(2) 無形固定資産	653,597
(3) 投資その他の資産	3,109,073
2 流動資産	6,521,345
(1) 現金及び預金	4,185,835
(2) 未収金及び未収収益	2,265,427
(3) 貸倒引当金( )	29,012
(4) 貯蔵品	99,095
3 繰延資産	-
負債合計	19,511,347
1 固定負債	15,535,911
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,207,189
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,755,640
(7) リース債務	573,082
2 流動負債	3,531,084
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	806,988
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	502,435
(6) リース債務	20,650
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,129,470
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	444,352
(1) 長期前受金	2,879,058
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,434,706
資本合計	5,446,360
1 資本金	6,487,493
2 剰余金	-1,041,133
(1) 資本剰余金	695,376
(2) 利益剰余金	-1,736,509
負債・資本合計	24,957,707
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	91.3
修正医業収益(千円)	13,704,678

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	999,129	999,129
資本勘定繰入	369,138	369,138
計	1,368,267	1,368,267

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	津島市
				病院名	津島市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,677 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災 輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	440	73.0	76.1	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	440	73.0	76.1	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		17.7	16.0	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	63,431	
決算規模(千円)	21,055,465	
標準財政規模(千円)	12,967,684	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.5
	将来負担比率(%)	27.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.5
修正医業収益(千円)	8,040,962

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,296,440			
1 経常収益	9,296,440			
(1) 医業収益	8,329,797			
入院収益	5,654,438			
外来収益	2,145,603			
診療収入計	7,800,041			
その他医業収益	529,756			
(うち他会計負担金)	288,835			
(2) 医業外収益	966,643			
(うち国・都道府県補助金)	12,392			
(うち他会計補助・負担金)	531,907			
(うち長期前受金戻入)	341,983			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,163,581			
2 経常費用	9,163,581			
(1) 医業費用	8,696,037			
職員給与費	4,667,252	56.0	55.7	54.0
材料費	1,613,787	19.4	24.7	26.9
(うち薬品費)	675,959	8.1	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	932,683	11.2	11.0	12.2
減価償却費	566,169	6.8	9.0	7.9
経費	1,816,411	21.8	23.3	19.2
(うち委託料)	902,863	10.8	11.5	9.3
研究研修費	19,899			
資産減耗費	12,519			
(2) 医業外費用	467,544			
(うち支払利息)	135,855	1.6	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	132,859			
純損益	132,859			
累積欠損金	8,969,930			
経常収支比率	101.4		97.7	98.8
医業収支比率	95.8		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.8		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.9		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	8.8		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	92.5		85.7	89.1

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,710,684
1 固定資産	6,919,941
(1) 有形固定資産	6,725,010
(2) 無形固定資産	323
(3) 投資その他の資産	194,608
2 流動資産	1,790,743
(1) 現金及び預金	330,925
(2) 未収金及び未収収益	1,395,081
(3) 貸倒引当金( )	5,277
(4) 貯蔵品	70,014
3 繰延資産	-
負債合計	14,885,886
1 固定負債	10,414,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,364,964
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	58,575
(5) その他の長期借入金	1,226,667
(6) 引当金	1,763,894
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,586,521
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	922,757
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	17,913
(4) その他の長期借入金	80,000
(5) 引当金	239,056
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	800,000
(8) 未払金及び未払費用	526,295
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,885,265
(1) 長期前受金	8,592,999
(2) 長期前受金収益化累計額( )	6,707,734
資本合計	-6,175,202
1 資本金	2,767,145
2 剰余金	-8,942,347
(1) 資本剰余金	26,562
(2) 利益剰余金	-8,968,909
負債・資本合計	8,710,684
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	6,175,202
資本不足額(繰延収益控除後)( )	4,289,937
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	805,042	820,742
資本勘定繰入	478,621	622,202
計	1,283,663	1,442,944

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	355,180	4.3

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	107.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	碧南市
				病院名	碧南市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,427 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	19	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	319	71.6	72.1	75.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	319	71.6	72.1	75.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.7	13.6	12.5

設立団体の状況		
人口(人)	71,346	
決算規模(千円)	29,201,283	
標準財政規模(千円)	19,291,323	
財政力指数	1.25	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.5
修正医業収益(千円)	5,979,936

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,048,366			
1 経常収益	7,048,061			
(1) 医業収益	6,091,293			
入院収益	3,855,647			
外来収益	1,970,785			
診療収入計	5,826,432			
その他医業収益	264,861			
(うち他会計負担金)	111,357			
(2) 医業外収益	956,768			
(うち国・都道府県補助金)	7,564			
(うち他会計補助・負担金)	883,736			
(うち長期前受金戻入)	21,963			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	305			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,067,149			
2 経常費用	8,064,957			
(1) 医業費用	7,716,997			
職員給与費	4,022,881	66.0	55.7	57.0
材料費	1,436,914	23.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	854,908	14.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	581,459	9.5	11.0	11.3
減価償却費	771,693	12.7	9.0	9.3
経費	1,436,988	23.6	23.3	22.1
(うち委託料)	959,565	15.8	11.5	11.1
研究研修費	25,721			
資産減耗費	22,800			
(2) 医業外費用	347,960			
(うち支払利息)	10,554	0.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	2,192			
損益				
経常損益	-1,016,896			
純損益	-1,018,783			
累積欠損金	9,311,547			
経常収支比率	87.4		97.7	96.4
医業収支比率	78.9		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	75.1		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,201,840
1 固定資産	7,811,006
(1) 有形固定資産	7,751,719
(2) 無形固定資産	21,658
(3) 投資その他の資産	37,629
2 流動資産	1,390,834
(1) 現金及び預金	388,037
(2) 未収金及び未収収益	916,229
(3) 貸倒引当金( )	13,794
(4) 貯蔵品	100,213
3 繰延資産	-
負債合計	4,776,826
1 固定負債	2,909,482
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,640,878
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,268,604
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,546,643
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	719,386
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	228,919
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	552,451
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	320,701
(1) 長期前受金	1,466,858
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,146,157
資本合計	4,425,014
1 資本金	13,681,561
2 剰余金	-9,256,547
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-9,256,547
負債・資本合計	9,201,840
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	995,093	995,093
資本勘定繰入	374,736	374,736
計	1,369,829	1,369,829

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	152.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛知県
	市町村・組合名	西尾市
	病院名	西尾市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	26,176 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	372	63.2	67.8	68.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	372	63.2	67.8	68.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.9	12.4	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	167,990	
決算規模(千円)	55,257,074	
標準財政規模(千円)	36,752,709	
財政力指数	0.98	
経常収支比率(%)	84.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.0
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.4
修正医業収益(千円)	6,694,685

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,777,032			
1 経常収益	7,777,032			
(1) 医業収益	6,837,826			
入院収益	4,029,666			
外来収益	2,569,012			
診療収入計	6,598,678			
その他医業収益	239,148			
(うち他会計負担金)	143,141			
(2) 医業外収益	939,206			
(うち国・都道府県補助金)	7,865			
(うち他会計補助・負担金)	857,269			
(うち長期前受金戻入)	24,678			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,674,589			
2 経常費用	8,674,589			
(1) 医業費用	8,321,624			
職員給与費	4,655,304	68.1	55.7	57.0
材料費	1,701,044	24.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,100,271	16.1	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	597,514	8.7	11.0	11.3
減価償却費	421,295	6.2	9.0	9.3
経費	1,488,542	21.8	23.3	22.1
(うち委託料)	1,067,431	15.6	11.5	11.1
研究研修費	14,683			
資産減耗費	40,756			
(2) 医業外費用	352,965			
(うち支払利息)	16,143	0.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-897,557			
純損益	-897,557			
累積欠損金	8,676,223			
経常収支比率	89.7		97.7	96.4
医業収支比率	82.2		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	12.9		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	78.1		85.7	85.3

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,528,257
1 固定資産	7,917,944
(1) 有形固定資産	7,670,699
(2) 無形固定資産	1,494
(3) 投資その他の資産	245,751
2 流動資産	1,610,313
(1) 現金及び預金	562,866
(2) 未収金及び未収収益	1,000,727
(3) 貸倒引当金( )	5,294
(4) 貯蔵品	42,014
3 繰延資産	-
負債合計	4,666,672
1 固定負債	2,828,499
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,408,489
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	943,334
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	476,676
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,477,451
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	285,581
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	53,333
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	270,939
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	532,348
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	360,722
(1) 長期前受金	1,639,239
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,278,517
資本合計	4,861,585
1 資本金	9,570,924
2 剰余金	-4,709,339
(1) 資本金剰余金	3,966,884
(2) 利益剰余金	-8,676,223
負債・資本合計	9,528,257
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,000,410	1,000,410
資本勘定繰入	339,729	679,729
計	1,340,139	1,680,139

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	126.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	蒲郡市
				病院名	蒲郡市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,534 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	382	81.6	75.4	64.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	382	81.6	75.4	64.7
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	14.3	14.3

設立団体の状況		
人口(人)	81,100	
決算規模(千円)	31,788,149	
標準財政規模(千円)	17,310,132	
財政力指数	0.88	
経常収支比率(%)	90.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.8
修正医業収益(千円)	7,473,063

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,890,519			
1 経常収益	8,890,519			
(1) 医業収益	7,615,263			
入院収益	5,243,302			
外来収益	1,977,174			
診療収入計	7,220,476			
その他医業収益	394,787			
(うち他会計負担金)	142,200			
(2) 医業外収益	1,275,256			
(うち国・都道府県補助金)	7,537			
(うち他会計補助・負担金)	1,198,800			
(うち長期前受金戻入)	14,153			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,388,533			
2 経常費用	8,388,533			
(1) 医業費用	7,885,208			
職員給与費	3,956,412	52.0	55.7	57.0
材料費	1,668,516	21.9	24.7	24.5
(うち薬品費)	931,788	12.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	731,453	9.6	11.0	11.3
減価償却費	493,903	6.5	9.0	9.3
経費	1,730,785	22.7	23.3	22.1
(うち委託料)	853,072	11.2	11.5	11.1
研究研修費	28,118			
資産減耗費	7,474			
(2) 医業外費用	503,325			
(うち支払利息)	143,072	1.9	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	501,986			
純損益	501,986			
累積欠損金	14,199,614			
経常収支比率	106.0		97.7	96.4
医業収支比率	96.6		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	15.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	15.1		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	90.0		85.7	85.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,530,531
1 固定資産	9,410,314
(1) 有形固定資産	9,288,692
(2) 無形固定資産	2,954
(3) 投資その他の資産	118,668
2 流動資産	1,120,217
(1) 現金及び預金	387,675
(2) 未収金及び未収収益	684,102
(3) 貸倒引当金( )	12,383
(4) 貯蔵品	60,822
3 繰延資産	-
負債合計	7,886,927
1 固定負債	6,038,424
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,537,112
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,480,842
(7) リース債務	20,470
2 流動負債	1,550,158
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	808,587
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	285,692
(6) リース債務	7,077
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	444,142
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	298,345
(1) 長期前受金	912,430
(2) 長期前受金収益化累計額( )	614,085
資本合計	2,643,604
1 資本金	16,778,350
2 剰余金	-14,134,746
(1) 資本金剰余金	64,868
(2) 利益剰余金	-14,199,614
負債・資本合計	10,530,531
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,041,000	1,341,000
資本勘定繰入	557,828	460,860
計	1,598,828	1,801,860

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	107,498	1.6
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	186.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛知県
	市町村・組合名	常滑市
	病院名	常滑市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	22,131 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	26	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	265	77.5	82.6	86.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	267	76.9	81.9	85.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.3	17.1	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	56,547	
決算規模(千円)	23,327,931	
標準財政規模(千円)	13,689,342	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	93.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.4
	将来負担比率(%)	111.0

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.0
修正医業収益(千円)	5,707,461

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,355,384			
1 経常収益	6,331,012			
(1) 医業収益	5,873,821			
入院収益	3,456,411			
外来収益	1,849,377			
診療収入計	5,305,788			
その他医業収益	568,033			
(うち他会計負担金)	166,360			
(2) 医業外収益	457,191			
(うち国・都道府県補助金)	21,837			
(うち他会計補助・負担金)	312,143			
(うち長期前受金戻入)	56,318			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	24,372			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,120,401			
2 経常費用	6,904,453			
(1) 医業費用	6,561,747			
職員給与費	3,750,922	63.9	55.7	59.8
材料費	1,087,129	18.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	602,454	10.3	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	483,892	8.2	11.0	9.2
減価償却費	642,601	10.9	9.0	9.9
経費	1,068,452	18.2	23.3	27.7
(うち委託料)	681,854	11.6	11.5	12.4
研究研修費	11,650			
資産減耗費	993			
(2) 医業外費用	342,706			
(うち支払利息)	69,663	1.2	1.4	1.5
(3) 特別損失	215,948			
損益				
経常損益	-573,441			
純損益	-765,017			
累積欠損金	10,390,142			
経常収支比率	91.7		97.7	96.3
医業収支比率	89.5		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.6		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.1		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	84.8		85.7	83.5

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,471,998
1 固定資産	11,698,059
(1) 有形固定資産	11,519,786
(2) 無形固定資産	99,872
(3) 投資その他の資産	78,401
2 流動資産	1,773,939
(1) 現金及び預金	829,542
(2) 未収金及び未収収益	918,320
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	26,077
3 繰延資産	-
負債合計	10,178,591
1 固定負債	7,513,471
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,942,330
(2) その他の企業債	324,700
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,246,441
(7) リース債務	-
2 流動負債	935,741
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	248,464
(2) その他の企業債	19,500
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	251,998
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	380,971
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,729,379
(1) 長期前受金	1,998,114
(2) 長期前受金収益化累計額( )	268,735
資本合計	3,293,407
1 資本金	13,589,424
2 剰余金	-10,296,017
(1) 資本金剰余金	94,125
(2) 利益剰余金	-10,390,142
負債・資本合計	13,471,998
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	576,610	478,503
資本勘定繰入	321,497	321,497
計	898,107	800,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	176.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	小牧市
				病院名	小牧市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	55,322 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が 災地		
診療科数	31	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	520	86.5	79.9	84.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	520	86.5	79.9	84.8
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	10.6	10.9

設立団体の状況		
人口(人)	149,462	
決算規模(千円)	55,314,343	
標準財政規模(千円)	34,893,260	
財政力指数	1.23	
経常収支比率(%)	83.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.3
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	21,722,192			
1 経常収益	21,172,274			
(1) 医業収益	19,424,419			
入院収益	12,023,171			
外来収益	6,569,969			
診療収入計	18,593,140			
その他医業収益	831,279			
(うち他会計負担金)	138,814			
(2) 医業外収益	1,747,855			
(うち国・都道府県補助金)	27,692			
(うち他会計補助・負担金)	620,113			
(うち長期前受金戻入)	940,087			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	549,918			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,060,727			
2 経常費用	23,072,877			
(1) 医業費用	21,903,312			
職員給与費	9,659,180	49.7	55.7	49.1
材料費	6,062,356	31.2	24.7	29.1
(うち薬品費)	3,148,315	16.2	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,914,041	15.0	11.0	12.7
減価償却費	2,292,847	11.8	9.0	8.4
経費	3,622,481	18.6	23.3	20.7
(うち委託料)	2,295,128	11.8	11.5	11.6
研究研修費	58,625			
資産減耗費	207,823			
(2) 医業外費用	1,169,565			
(うち支払利息)	114,458	0.6	1.4	1.2
(3) 特別損失	987,850			
損益				
経常損益	-1,900,603			
純損益	-2,338,535			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.8		97.7	98.8
医業収支比率	88.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	3.6		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	3.9		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	3.5		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	88.5		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	50,892,673
1 固定資産	34,137,318
(1) 有形固定資産	31,900,464
(2) 無形固定資産	1,700,596
(3) 投資その他の資産	536,258
2 流動資産	16,755,355
(1) 現金及び預金	12,872,858
(2) 未収金及び未収収益	3,656,324
(3) 貸倒引当金( )	34,656
(4) 貯蔵品	260,829
3 繰延資産	-
負債合計	30,651,746
1 固定負債	22,164,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	17,969,598
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,135,058
(7) リース債務	1,059,999
2 流動負債	3,405,680
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,577,779
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	574,255
(6) リース債務	118,313
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,056,525
(9) 前受金及び前受収益	937
3 繰延収益	5,081,411
(1) 長期前受金	7,312,304
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,230,893
資本合計	20,240,927
1 資本金	15,358,633
2 剰余金	4,887,174
(1) 資本金剰余金	380,358
(2) 利益剰余金	4,506,816
負債・資本合計	50,892,673
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.0
修正医業収益(千円)	19,285,605

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	754,118	758,927
資本勘定繰入	1,294,571	1,328,650
計	2,048,689	2,087,577

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	稲沢市
				病院名	稲沢市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,142 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨	輪	
診療科数	18	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	320	57.8	59.0	57.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	320	57.8	59.0	57.0
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	14.7	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	136,867	
決算規模(千円)	46,794,843	
標準財政規模(千円)	28,724,375	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	79.1
修正医業収益(千円)	5,458,501

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,852,884			
1 経常収益	6,852,884			
(1) 医業収益	5,617,510			
入院収益	3,520,597			
外来収益	1,696,149			
診療収入計	5,216,746			
その他医業収益	400,764			
(うち他会計負担金)	159,009			
(2) 医業外収益	1,235,374			
(うち国・都道府県補助金)	5,948			
(うち他会計補助・負担金)	615,099			
(うち長期前受金戻入)	534,948			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,291,058			
2 経常費用	7,291,058			
(1) 医業費用	6,901,602			
職員給与費	3,624,225	64.5	55.7	57.0
材料費	1,141,815	20.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	435,366	7.8	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	705,556	12.6	11.0	11.3
減価償却費	904,433	16.1	9.0	9.3
経費	1,198,327	21.3	23.3	22.1
(うち委託料)	835,635	14.9	11.5	11.1
研究研修費	28,787			
資産減耗費	4,015			
(2) 医業外費用	389,456			
(うち支払利息)	86,259	1.5	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-438,174			
純損益	-438,174			
累積欠損金	3,137,917			
経常収支比率	94.0		97.7	96.4
医業収支比率	81.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	11.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.8		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	11.3		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	83.4		85.7	85.3

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,344,402
1 固定資産	9,653,602
(1) 有形固定資産	9,328,035
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	325,567
2 流動資産	1,690,800
(1) 現金及び預金	752,571
(2) 未収金及び未収収益	910,095
(3) 貸倒引当金( )	4,543
(4) 貯蔵品	32,677
3 繰延資産	-
負債合計	10,219,748
1 固定負債	7,696,974
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,897,278
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	500,000
(6) 引当金	1,299,696
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,222,523
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	417,283
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	201,750
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	577,009
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,300,251
(1) 長期前受金	4,056,026
(2) 長期前受金収益化累計額( )	2,755,775
資本合計	1,124,654
1 資本金	3,678,473
2 剰余金	-2,553,819
(1) 資本金剰余金	165,050
(2) 利益剰余金	-2,718,869
負債・資本合計	11,344,402
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	761,093	774,108
資本勘定繰入	474,335	498,316
計	1,235,428	1,272,424

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	55.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。



<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	新城市
				病院名	新城市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	24,006 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ 災 輪		
診療科数	22	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	199	52.8	54.8	51.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	52.8	54.8	51.4
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	16.1	15.1

設立団体の状況		
人口(人)	47,133	
決算規模(千円)	23,362,711	
標準財政規模(千円)	14,316,782	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.0
	将来負担比率(%)	50.7

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.2
修正医業収益(千円)	2,868,818

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,762,731			
1 経常収益	3,612,987			
(1) 医業収益	3,107,103			
入院収益	1,583,755			
外来収益	1,071,979			
診療収入計	2,655,734			
その他医業収益	451,369			
(うち他会計負担金)	238,285			
(2) 医業外収益	505,884			
(うち国・都道府県補助金)	37,727			
(うち他会計補助・負担金)	320,862			
(うち長期前受金戻入)	109,331			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	149,744			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,700,619			
2 経常費用	3,700,555			
(1) 医業費用	3,531,412			
職員給与費	1,979,152	63.7	55.7	61.3
材料費	445,466	14.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	237,714	7.7	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	185,700	6.0	11.0	8.2
減価償却費	289,569	9.3	9.0	10.2
経費	798,472	25.7	23.3	30.5
(うち委託料)	344,247	11.1	11.5	13.0
研究研修費	9,315			
資産減耗費	9,438			
(2) 医業外費用	169,143			
(うち支払利息)	51,795	1.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	64			
損益				
経常損益	-87,568			
純損益	62,112			
累積欠損金	2,854,694			
経常収支比率	97.6		97.7	96.5
医業収支比率	88.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	15.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	18.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	14.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	82.5		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,559,868
1 固定資産	3,611,813
(1) 有形固定資産	3,242,623
(2) 無形固定資産	2,793
(3) 投資その他の資産	366,397
2 流動資産	2,948,055
(1) 現金及び預金	2,330,836
(2) 未収金及び未収収益	583,225
(3) 貸倒引当金( )	1,370
(4) 貯蔵品	35,364
3 繰延資産	-
負債合計	2,959,111
1 固定負債	1,999,048
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,137,080
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	858,061
(7) リース債務	3,907
2 流動負債	762,027
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	376,249
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,515
(6) リース債務	4,926
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	228,782
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	198,036
(1) 長期前受金	1,770,943
(2) 長期前受金収益化累計額( )	1,572,907
資本合計	3,600,757
1 資本金	6,326,675
2 剰余金	-2,725,918
(1) 資本剰余金	2,593
(2) 利益剰余金	-2,728,511
負債・資本合計	6,559,868
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	558,571	559,147
資本勘定繰入	272,401	332,575
計	830,972	891,722

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	91.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛知県
		市町村・組合名	知多市
		病院名	知多市民病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	84,617	
決算規模(千円)	27,439,903	
標準財政規模(千円)	17,190,179	
財政力指数	0.97	
経常収支比率(%)	93.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	24.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,446			
1 経常収益	14,446			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,446			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	14,446			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,446			
2 経常費用	14,446			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	57.0
材料費	-	-	24.7	24.5
(うち薬品費)	-	-	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	11.3
減価償却費	-	-	9.0	9.3
経費	-	-	23.3	22.1
(うち委託料)	-	-	11.5	11.1
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	14,446			
(うち支払利息)	14,446	-	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.4
医業収支比率	-		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	-		85.7	85.3

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,223	14,446
資本勘定繰入	19,901	39,802
計	27,124	54,248

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	愛知県
		市町村・組合名	高浜市
		病院名	市立病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		46,236
決算規模(千円)		16,128,778
標準財政規模(千円)		9,779,510
財政力指数		1.05
経常収支比率(%)		93.3
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-0.4
	将来負担比率(%)	0.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,794			
1 経常収益	10,794			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,794			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,794			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,794			
2 経常費用	10,794			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,794			
(うち支払利息)	10,794	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,196	10,794
資本勘定繰入	34,099	51,149
計	41,295	61,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益から  
その他医業収益のうち他会計負担金を  
除いたもので、修正医業収支比率とは、  
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、  
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、  
「健全化法上の資金不足額」、  
「健全化法上の資金不足比率」、  
「地財法上の資金不足額」、  
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で  
算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の  
財政構造の弾力性を判断するための指標で、  
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に  
支出される経費(経常的経費)に充当された  
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする  
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、  
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に  
占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛知県
	市町村・組合名	みよし市
	病院名	みよし市民病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	68	81.4	82.9	84.3
療養	54	84.9	84.3	88.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	122	82.9	83.5	86.3
平均在院日数(一般病床のみ)		15.5	17.2	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	61,810	
決算規模(千円)	27,620,031	
標準財政規模(千円)	18,037,571	
財政力指数	1.47	
経常収支比率(%)	74.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.2
	将来負担比率(%)	-

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,751 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	12	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.6
修正医業収益(千円)	2,193,374

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,717,793			
1 経常収益	2,717,793			
(1) 医業収益	2,298,663			
入院収益	1,016,275			
外来収益	957,950			
診療収入計	1,974,225			
その他医業収益	324,438			
(うち他会計負担金)	105,289			
(2) 医業外収益	419,130			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	252,865			
(うち長期前受金戻入)	149,091			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,981,015			
2 経常費用	2,979,427			
(1) 医業費用	2,827,452			
職員給与費	1,353,300	58.9	55.7	61.3
材料費	534,638	23.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	408,152	17.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	103,561	4.5	11.0	8.2
減価償却費	255,332	11.1	9.0	10.2
経費	674,525	29.3	23.3	30.5
(うち委託料)	324,659	14.1	11.5	13.0
研究研修費	6,960			
資産減耗費	2,697			
(2) 医業外費用	151,975			
(うち支払利息)	35,606	1.5	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,588			
損益				
経常損益	-261,634			
純損益	-263,222			
累積欠損金	-			
経常収支比率	91.2		97.7	96.5
医業収支比率	81.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	15.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	79.2		85.7	80.7

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,624,479
1 固定資産	3,529,781
(1) 有形固定資産	3,526,760
(2) 無形固定資産	121
(3) 投資その他の資産	2,900
2 流動資産	1,094,698
(1) 現金及び預金	654,130
(2) 未収金及び未収収益	428,092
(3) 貸倒引当金( )	4,006
(4) 貯蔵品	16,482
3 繰延資産	-
負債合計	3,169,487
1 固定負債	2,026,821
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,886,385
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	140,436
(7) リース債務	-
2 流動負債	669,074
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	291,561
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	86,834
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	290,679
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	473,592
(1) 長期前受金	3,657,235
(2) 長期前受金収益化累計額( )	3,183,643
資本合計	1,454,992
1 資本金	956,315
2 剰余金	498,677
(1) 資本金剰余金	381,280
(2) 利益剰余金	117,397
負債・資本合計	4,624,479
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	358,154	358,154
資本勘定繰入	248,348	284,609
計	606,502	642,763

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

備考:  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)	都道府県名	愛知県
	市町村・組合名	あま市
	病院名	あま市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	19,927 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救
診療科数	11	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	180	48.8	31.7	34.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	180	48.8	31.7	34.9
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	18.3	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	86,898	
決算規模(千円)	31,233,115	
標準財政規模(千円)	17,897,477	
財政力指数	0.75	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	27.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	753,818			
1 経常収益	738,208			
(1) 医業収益	100,524			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	100,524			
(うち他会計負担金)	69,235			
(2) 医業外収益	637,684			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	375,560			
(うち長期前受金戻入)	204,369			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,610			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,247,408			
2 経常費用	1,241,793			
(1) 医業費用	1,111,481			
職員給与費	42,903	42.7	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	418,238	416.1	9.0	10.2
経費	649,796	646.4	23.3	30.5
(うち委託料)	10,089	10.0	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	544			
(2) 医業外費用	130,312			
(うち支払利息)	81,747	81.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	5,615			
損益				
経常損益	-503,585			
純損益	-493,590			
累積欠損金	2,341,663			
経常収支比率	59.4		97.7	96.5
医業収支比率	9.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	60.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	442.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	59.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	23.6		85.7	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,009,805
1 固定資産	7,691,543
(1) 有形固定資産	7,212,849
(2) 無形固定資産	2,186
(3) 投資その他の資産	476,508
2 流動資産	318,262
(1) 現金及び預金	317,151
(2) 未収金及び未収収益	1,945
(3) 貸倒引当金( )	834
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	8,413,431
1 固定負債	7,650,500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,650,500
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	348,477
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	323,841
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,682
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	17,994
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	414,454
(1) 長期前受金	996,851
(2) 長期前受金収益化累計額( )	582,397
資本合計	-403,626
1 資本金	1,938,037
2 剰余金	-2,341,663
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,341,663
負債・資本合計	8,009,805
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	403,626
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	2.8
修正医業収益(千円)	31,289

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	145,331	444,795
資本勘定繰入	119,674	134,464
計	265,005	579,259

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	2329.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>(令和元年度)</b>				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	公立陶生病院組合
				病院名	公立陶生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	66,673 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災地		
診療科数	30	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	602	91.6	88.4	85.4
療養	-	-	-	-
結核	25	51.9	50.6	33.7
精神	-	-	-	-
感染症	6	7.0	-	-
計	633	89.2	86.0	81.4
平均在院日数(一般病床のみ)		11.4	11.5	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	25,669,737			
1 経常収益	25,006,395			
(1) 医業収益	23,178,570			
入院収益	13,459,063			
外来収益	8,768,516			
診療収入計	22,227,579			
その他医業収益	950,991			
(うち他会計負担金)	427,600			
(2) 医業外収益	1,827,825			
(うち国・都道府県補助金)	48,144			
(うち他会計補助・負担金)	783,500			
(うち長期前受金戻入)	760,819			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	663,342			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	29,054,349			
2 経常費用	25,896,364			
(1) 医業費用	24,552,448			
職員給与費	11,272,263	48.6	55.7	49.1
材料費	6,725,605	29.0	24.7	29.1
(うち薬品費)	4,233,681	18.3	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,480,193	10.7	11.0	12.7
減価償却費	2,642,941	11.4	9.0	8.4
経費	3,821,447	16.5	23.3	20.7
(うち委託料)	2,419,557	10.4	11.5	11.6
研究研修費	70,192			
資産減耗費	20,000			
(2) 医業外費用	1,343,916			
(うち支払利息)	227,668	1.0	1.4	1.2
(3) 特別損失	3,157,985			
損益				
経常損益	-889,969			
純損益	-3,384,612			
累積欠損金	1,579,511			
経常収支比率	96.6		97.7	98.8
医業収支比率	94.4		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	4.8		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	5.2		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	91.9		85.7	89.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	40,030,726
1 固定資産	32,236,242
(1) 有形固定資産	30,488,505
(2) 無形固定資産	3,152
(3) 投資その他の資産	1,744,585
2 流動資産	7,794,484
(1) 現金及び預金	3,754,467
(2) 未収金及び未収収益	3,805,337
(3) 貸倒引当金( )	52,559
(4) 貯蔵品	275,263
3 繰延資産	-
負債合計	37,720,435
1 固定負債	29,897,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	25,170,829
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	4,571,122
(7) リース債務	155,662
2 流動負債	4,374,841
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,749,685
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	691,000
(6) リース債務	56,151
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,798,806
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,447,981
(1) 長期前受金	15,292,501
(2) 長期前受金収益化累計額( )	11,844,520
資本合計	2,310,291
1 資本金	1,003,007
2 剰余金	1,307,284
(1) 資本剰余金	2,392,018
(2) 利益剰余金	-1,084,734
負債・資本合計	40,030,726
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.7
修正医業収益(千円)	22,750,970

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,624,976	1,211,100
資本勘定繰入	1,670,289	658,900
計	3,295,265	1,870,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (令和元年度)				都道府県名	愛知県
				市町村・組合名	西知多医療厚生組合(事業会計分)
				病院名	西知多総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	44,291 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感災地輪		
診療科数	32	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	468	69.7	68.3	69.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	468	69.7	68.3	69.8
平均在院日数(一般病床のみ)		13.4	13.0	12.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	78.5
修正医業収益(千円)	10,186,108

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,690,778			
1 経常収益	12,601,384			
(1) 医業収益	10,586,828			
入院収益	6,598,546			
外来収益	2,868,578			
診療収入計	9,467,124			
その他医業収益	1,119,704			
(うち他会計負担金)	400,720			
(2) 医業外収益	2,014,556			
(うち国・都道府県補助金)	12,062			
(うち他会計補助・負担金)	1,417,953			
(うち長期前受金戻入)	493,794			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	89,394			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,458,621			
2 経常費用	13,372,495			
(1) 医業費用	12,976,290			
職員給与費	7,077,362	66.9	55.7	54.0
材料費	2,326,065	22.0	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,134,864	10.7	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,175,004	11.1	11.0	12.2
減価償却費	1,489,119	14.1	9.0	7.9
経費	2,044,351	19.3	23.3	19.2
(うち委託料)	1,348,680	12.7	11.5	9.3
研究研修費	37,999			
資産減耗費	1,394			
(2) 医業外費用	396,205			
(うち支払利息)	19,936	0.2	1.4	1.3
(3) 特別損失	86,126			
損益				
経常損益	-771,111			
純損益	-767,843			
累積欠損金	5,571,081			
経常収支比率	94.2		97.7	98.8
医業収支比率	81.6		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.4		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	17.2		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	14.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	80.6		85.7	89.1

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,739,192
1 固定資産	14,976,621
(1) 有形固定資産	14,059,774
(2) 無形固定資産	28,953
(3) 投資その他の資産	887,894
2 流動資産	1,762,571
(1) 現金及び預金	66,683
(2) 未収金及び未収収益	1,579,920
(3) 貸倒引当金( )	15,484
(4) 貯蔵品	128,681
3 繰延資産	-
負債合計	17,837,590
1 固定負債	14,013,561
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,330,440
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	683,121
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,437,325
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	713,062
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	405,710
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	660,000
(8) 未払金及び未払費用	598,494
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,386,704
(1) 長期前受金	2,162,714
(2) 長期前受金収益化累計額( )	776,010
資本合計	-1,098,398
1 資本金	4,394,204
2 剰余金	-5,492,602
(1) 資本剰余金	78,479
(2) 利益剰余金	-5,571,081
負債・資本合計	16,739,192
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	1,098,398
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,683,873	1,818,673
資本勘定繰入	621,327	621,327
計	2,305,200	2,440,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	52.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。